

教宣 せぶん

元気もらった名古屋オルグ 母店基点に2500枚

本部の皆さんが、正月休みで故郷に帰省した際、ポスティングをしていたという話を聞きました。雪深い東北の田舎町で1000枚、京都で4000枚など、私たちのたたかひの勝利のために、貴重な休暇を使ってできることをしてくれていました。たまたま話題にあがった話しですから、こういったことはほんの一例なのかもしれません。

また、外勤支部OBの先輩も高等裁判所宛の要請ハガキを60枚、知り合いにお願いして送ってくれていました。こんな嬉しい、元気が出る話しを聞いたのは、本部オルグ出席のために行った「名古屋」です。

懇親会の最後に、オルグに出席した共栄支部の書記長が「昨年12月の全国一斉ピラの名古屋行動、みんなで行ったポスティングはとても楽しかった。東海地協の書記局閉鎖が提起されたが、引き続き名古屋の連帯を強めていくためにも、春闘ボーリング大会の前に、参加者でポスティングを行ったらどうか。ボーリングの肩慣らしにもなる」と提案してくれました。産別単一労働組合の私たちは、他社で働く仲間とも組合活動を通じて、情報交換や懇親をはかることができます。こういった組織のない他産業では「同業他社の従業員が楽しく交流をはかるなど、あり得ないこと」だそうですが、仲間の窮地に、立ちあがって汗を流してくれるつながりこそ、私たちの「財産」だと感じました。

この日は、オルグ前に先輩を含めた3名で、名古屋支店を基点に2500枚のピラを配布しました。支店ビル建替えのために、一時転居している名古屋支店は、目立つ看板も出しておらず、とてもわかりづらい場所にテナントとして入っていましたが、「判決」や「命令」を守ろうとしない東京海上日動社の異常さが書かれたピラを、いまだ塗りつぶされていない地図上の地にポスティングしました。大都市・名古屋でも確実に東京海上日動社を包囲しています。